

| 令和8年度 | 科目名 人間工学 | 担当時間 1年次前期 | 講義担当者 |
|--|------------------------------|----------------|-------------------------------------|
| 時間割表記名 人間工学 (15h)、安全工学 (15h) | 単位数 1単位 (安全工学含む) | 時間数 30時間 (15回) | 人間工学：高橋純平、横田純一 安全工学：後藤 武 |
| 事前学習内容 教科書、資料等を読みましよう。授業後、復習しましよう。 | | | |
| 科目全体のねらい・授業目標 1 人間の動作・作業における力学の基本や物理学的原理・原則を理解する。 2 インシデントやヒューマンエラーが生まれる要素を知り、安全性を追求・改善するためのシステムについて理解する。 | | | |
| 授業の流れ (全体のスケジュール (回数) ・学習内容・方法・学習成果・使用テキスト・準備物品等) | | | |
| 回 | 学習内容と成果 | 方法 | 備考 |
| 1 | 人間工学の概要 ボディメカニクスの概要を理解できる | 講義 | 教科書、資料、高橋 |
| 2 | 人間工学とボディメカニクス① ベクトル、重心を理解できる | 講義 | 教科書、資料、高橋 |
| 3 | ボディメカニクス②基礎 モーメント、力を理解できる | 講義 | 教科書、資料、高橋 |
| 4 | 姿勢と動作①について理解できる | 講義 | 教科書、資料、横田 |
| 5 | 姿勢と動作②について理解できる | 講義 | 教科書、資料、横田 |
| 6 | 人間工学の看護応用①について理解できる | 講義 | 教科書、資料、横田 |
| 7 | 人間工学の看護応用②について理解できる | 講義、演習 | 教科書、資料、横田 |
| | 試験 | 筆記試験 | 高橋、横田 |
| 8 | 臨床工学士の役割について理解できる | 講義 | 後藤 |
| 9 | 医療安全の考え方を理解できる | 講義 | 後藤 |
| 10 | 医療事故について理解できる | 講義 | 後藤 |
| 11 | 医療事故発生後の対応について理解できる | 講義 | 後藤 |
| 12 | 安全工学に関わる国家試験問題について理解できる | 講義 | 後藤 |
| 13 | 医療事故調査報告制度について理解できる | 講義 | 後藤 |
| 14 | 医療機器の安全管理について理解できる | 講義 | 後藤 |
| 15 | 試験 | 筆記試験 | 後藤 |
| <p>※評価は、人間工学と安全工学の合計点になります。</p> <p>※点数配分は、人間工学 (高橋先生25点、横田先生25点) 安全工学 (後藤先生50点) になります。</p> <p>※各講師の講義終了後、各試験があります。6割未満は不合格となります。</p> | | | |
| <p>受講上の注意</p> <p>※人間とモノとの関わりとボディメカニクスの理屈を理解し、効率的かつ安全な看護動作を選択し、実施できるようになりましよう。</p> <p>※ヒューマンエラーとは何かを知り、危険予知ができるようになりましよう。</p> <p>※ヒューマンエラーを回避するため安全対策を考えることができるようになりましよう。</p> | | | <p>評価方法</p> <p>筆記試験</p> <p>出席状況</p> |
| <p>使用するテキスト</p> <p>1～7回：小川鑛一：看護動作を助ける基礎人間工学 東京電機大学出版局</p> <p>8～14回：なし</p> | | | |
| <p>参考文献</p> <p>小川鑛一、鈴木玲子、他：看護・介護のための人間工学入門、東京電機大学出版局 2006</p> | | | |

| 令和8年度 | 配当時間 1年次前期・後期 | 講義担当者 | |
|--|---------------------------------|--|------------|
| 科目名 臨床外科学 | 単位数 1単位 | 八木橋信夫、吉田 仁、村岡正敏 伊藤真弘、千代谷真理 畑中 亮、鈴木貴弘 | |
| 時間割表記名 臨床外科総論、臨床外科各論 | 時間数 32時間 (16回) | | |
| 事前学習内容 教科書、資料等を読みましよう。授業後、復習しましよう。 | | | |
| 科目全体のねらい・授業目標 外科総論 1. 麻酔と手術が人体に及ぼす影響・侵襲を理解する。 2. 外科的診断と処置・麻酔法の基本を理解する。 外科各論 1. 外科的治療の対象となる疾患、手術様式を理解する。 2. 各手術の特徴と術前・術後管理について理解する。 | | | |
| 授業の流れ (全体のスケジュール (回数) ・学習内容・方法・学習成果・使用テキスト・準備物品等) | | | |
| 回 | 学習内容と成果 | 方法 | 備考 |
| 1 | 外科医療の基礎について理解できる | 講義 | 教科書、資料、八木橋 |
| 2 | 創傷治療と外科治療について理解できる | 講義 | 教科書、資料、八木橋 |
| 3 | 外科的治療の実際について理解できる | 講義 | 教科書、資料、八木橋 |
| 4 | 麻酔科学について理解できる | 講義 | 教科書、資料、村岡 |
| 5 | 局所麻酔、術後疼痛管理 | 講義 | 教科書、資料、吉田 |
| 6 | 緩和医療について理解できる | 講義 | 教科書、資料、伊藤 |
| 7 | 腹部消化器外科 (食道、胃・十二指腸) について理解できる | 講義 | 教科書、資料、伊藤 |
| 8 | 腹部消化器外科 (腸・腹膜) について理解できる | 講義 | 教科書、資料、伊藤 |
| 9 | 腹部消化器外科 (肝臓・肝外胆道系、膵臓) について理解できる | 講義 | 教科書、資料、伊藤 |
| 10 | 腹部消化器外科 (脾臓、門脈、膵臓、ヘルニア、副腎) | 講義 | 教科書、資料、伊藤 |
| 11 | 循環器外科 (心臓) について理解できる | 講義 | 教科書、資料、千代谷 |
| 12 | 循環器外科 (血管) について理解できる | 講義 | 教科書、資料、千代谷 |
| 13 | 呼吸器解剖・生理・検査等について理解できる | 講義 | 教科書、資料、畑中 |
| 14 | 呼吸器疾患 (肺がん・気胸) 看護について理解できる | 講義 | 教科書、資料、畑中 |
| 15 | 乳腺の疾患について理解できる | 講義 | 教科書、資料、鈴木 |
| 16 | 試験 | 筆記試験 | |
| <p>※評価は、臨床外科総論と臨床外科各論の平均点となります。</p> <p>※外科総論100点満点 (八木橋先生50点満点+村岡先生25点満点+吉田先生25点満点)</p> <p>※外科各論100点満点 (千代谷先生25点満点+畑中先生25点満点+鈴木先生20点満点+伊藤先生30点満点)</p> <p>※各講師の講義終了後、各試験があります。6割未満は赤点となります。</p> | | | |
| 受講上の注意 外科的治療を受ける患者は、共通の特徴を持っています。手術は、生体への侵襲を伴う治療法である。外科医療の基礎、外科的治療を要する疾患・症状、治療の実際を学び看護に繋げましよう。 | | 評価方法 出欠状況 筆記試験 | |
| 使用するテキスト 1～8回：別巻 臨床外科看護総論 : 系統看護学講座 医学書院 9～15回：別巻 臨床外科看護各論 : 系統看護学講座 医学書院 | | | |
| 参考文献 | | | |

| 令和8年度 | 配当時間 1年次前期 | 講義担当者 | |
|--|---------------------------------------|------------------------------|--------|
| 科目名 保健医療論 | 単位数 1単位 | 上谷英史 | |
| 時間割表記名 保健医療論 | 時間数 15時間 (8回) | | |
| 事前学習内容 教科書、資料等を読みましよう。授業後、復習しましよう。 | | | |
| 科目全体のねらい・授業目標 1. 保健医療福祉に関する基本概念を理解する。 2. 医療従事者に求められる社会的責任・役割・倫理を理解する。 | | | |
| 授業の流れ (全体のスケジュール (回数) ・学習内容・方法・学習成果・使用テキスト・準備物品等) | | | |
| 回 | 学習内容と成果 | 方法 | 備考 |
| 1 | 健康について理解できる | 講義 | 教科書、資料 |
| 2 | 医療システムについて理解できる | 講義 | 教科書、資料 |
| 3 | 日本の保健医療制度について理解できる | 講義 | 教科書、資料 |
| 4 | 在宅ケアの推進について理解できる | 講義 | 教科書、資料 |
| 5 | 高齢者ケアシステムについて理解できる | 講義 | 教科書、資料 |
| 6 | 災害医療 災害医療災害医療 ノーマライゼーションへの道について理解できる① | 講義 | 教科書、資料 |
| 7 | 災害医療 災害医療災害医療 ノーマライゼーションへの道について理解できる② | 講義 | 教科書、資料 |
| 8 | 試験 | 筆記試験 | |
| 受講上の注意 人々の健康と生活に対する保健医療の役割と動向について学び、医療従事者に求められる社会的責任・役割・倫理について考えることができるようになります。 | | 評価方法 出欠状況 筆記試験 課題提出 | |
| 使用するテキスト 学生のための医療概論 第3版増補版 : 医学書院 | | | |
| 参考文献 | | | |

| 令和8年度 | 配当時期 | 1年次後期 | 講義担当者 |
|---|-------------------------------------|------------|------------------------|
| 科目名 老年看護学概論 | 単位数 | 1単位 | 木村泰子 |
| 時間割表記名 老年看護学概論、老年保健 | 時間数 | 15時間(8回) | |
| 事前学習内容 シラバスを参考にし、事前に教科書の内容を読んでおきましょう。 | | | |
| 科目全体のねらい・授業目標 1 老年期にある人の身体的・精神的・社会的特徴を理解する。 2 老年看護の目的と役割を理解する。 3 老年期にある人の健康生活を支える保健・医療・福祉の連携のあり方を理解する。 | | | |
| 授業の流れ（全体のスケジュール（回数）・学習内容・方法・学習成果・使用テキスト・準備物品等） | | | |
| 回 | 学習内容と成果 | 方法 | 備考 |
| 1 | 高齢者に対する意識調査と老年看護学概論で何を学ぶかを理解できる | 講義 グループワーク | |
| 2 | 人生観とライフステージにおける老年期について理解できる | 講義 グループワーク | |
| 3 | 健康寿命の延伸（アクティブ80ヘルスプラン・老年観）について理解できる | 講義 | |
| 4 | 老化によるからだの変化①（細胞 全身 各諸機能①～⑥）を理解できる | 講義 | |
| 5 | 老化によるからだの変化③（各諸機能⑦～⑩）を理解できる | 講義 | |
| 6 | 高齢者の心理的特徴やつきあい方・社会的特徴（家族の存在）を理解できる② | 講義 | |
| 7 | 老年看護の実践の視点を理解できる | 講義 | |
| 8 | 試験 | | |
| 筆記試験の合計点を100点満点とします。 授業態度、提出物状況も点数に反映します。 ※ 6割未満は不合格となります。 | | | |
| 受講上の注意 | | | 評価方法 筆記試験 課題提出 出席状況 |
| 使用するテキスト 老年看護概論・老年保健 : 新体系看護学 メヂカルフレンド社 | | | |
| 参考文献 なし | | | |

| 令和8年度 | 配当時間 1年次 後期 | 講義担当者 | |
|--|----------------------------------|---|------|
| 科目名 母性看護学概論 | 単位数 1単位 | 山形祐子 | |
| 時間割表記名 母性看護学概論 | 時間数 30時間(15回) | | |
| 事前学習内容 教科書を事前に読んで事前学習してから授業に臨みましょう。 | | | |
| 科目全体のねらい・授業目標 1.母性看護の基盤となる概念が理解できる。 2.母性看護の現状と課題が理解できる。 3.母性看護の対象の特性が理解できる。 | | | |
| 授業の流れ（全体のスケジュール（回数）・学習内容・方法・学習成果・使用テキスト・準備物品等） | | | |
| 回 | 学習内容と成果 | 方法 | 備考 |
| 1 | 母性看護の基本となる概念について理解できる | ガイダンス、講義 | 小テスト |
| 2 | セクシュアリティやヘルスプロモーションが理解できる | 講義 | |
| 3 | 母性看護の歴史の変遷と現状について理解できる。 | 講義 | |
| 4 | 母性看護の対象を取り巻く環境について理解できる | 講義 | |
| 5 | 法律のまとめ 女性生殖器の図表作成 | グループ学習 | 小テスト |
| 6 | 情勢の形態と機能およびライフサイクルに伴う変化について理解できる | 講義 | |
| 7 | 女性のライフサイクルと家族について理解できる | 講義 | 小テスト |
| 8 | 母性看護の看護過程の視点と母性看護技術の特徴を理解できる | 講義 | |
| 9 | 女性のライフステージ各期における看護を理解できる | 講義 | |
| 10 | 思春期、成熟期の健康と看護を理解できる | 講義 | |
| 11 | 更年期、老年期の健康と看護を理解できる | 講義 | |
| 12 | リプロダクティブヘルスケアについて理解できる ① | 講義 | |
| 13 | リプロダクティブヘルスケアについて理解できる ② | 講義 | |
| 14 | 垂直感染、更年期障害、性感染症と予防、児童虐待の発表ができる | グループ発表 | |
| 15 | 試験 | 筆記試験 | |
| 受講上の注意 母性看護は、女性の生涯を通じて健康支援に関与する学問です。女性を産むだけの性として捉えず、多様な生き方に対する理解やケアについても学んでいきます。既習の知識をさらに専門性を高め「生命と人権」「性と生殖に関する健康と権利」と尊重した看護実践を目指す基盤を学修しましょう。 | | 評価方法 課題提出 出席状況 授業への参加度（発表・態度など） 筆記試験 | |
| 使用するテキスト 森恵美他：系統看護学講座専門分野 母性看護学概論 母性看護学1 医学書院 | | | |
| 参考文献 厚生労働統計協会編：国民衛生の動向 | | | |

| 令和8年度 | | 配当時間 1年次後期 | 講義担当者 |
|--|------------------|--------------------------|--------------------|
| 科目名 | 精神看護学概論／精神保健 | 単位数 1単位 概論15時間/保健15時間 | 渡部菜穂子 |
| 時間割表記名 | 精神看護学概論／精神保健 | 時間数 30時間（15回） | |
| 事前学習内容 テキストに目を通して講義に臨みましょう。 | | | |
| 科目全体のねらい・授業目標 精神看護の概念について学ぶ 精神障害とその苦しみを知り、精神看護を実践するものとしての視点や態度を学ぶ | | | |
| 授業の流れ（全体のスケジュール（回数）・学習内容・方法・学習成果・使用テキスト・準備物品等） | | | |
| 回 | 学習内容と成果 | 方法 | 備考 |
| 保健 1 | 精神看護学とは | 講義 | 教科書、資料 |
| 2 | 地域包括ケアと多職種連携 | 講義 | 教科書、資料 |
| 3 | 人間を社会的側面から捉えて | 講義 | 教科書、資料 |
| 4 | 精神医療の歴史 | 講義 | 教科書、資料 |
| 5 | 患者の人権と倫理的配慮 | 講義 | 教科書、資料 |
| 6 | 精神保健福祉法について | 講義 | 教科書、資料 |
| 7 | 精神医療福祉の現状と課題 | 講義 | 教科書、資料 |
| 8 | 試験 | 筆記試験 | |
| 概論 1 | 自我と防衛機制について | 講義 | 教科書、資料 |
| 2 | こどもの精神の発達 | 講義 | 教科書、資料 |
| 3 | ライフサイクルとメンタルヘルス① | 講義 | 教科書、資料 |
| 4 | ライフサイクルとメンタルヘルス① | 講義 | 教科書、資料 |
| 5 | リエゾン精神看護① | 講義 | 教科書、資料 |
| 6 | リエゾン精神看護② | 講義 | 教科書、資料 |
| 7 | リエゾン精神看護③ | 講義 | 教科書、資料 |
| 8 | 試験 | 筆記試験 | |
| 評価点は、精神保健50点との精神看護学概論50点の合計100点満点になります。 | | | |
| 受講上の注意 精神看護学は人間理解に基づいた看護学分野です。精神に障害を抱える人にとって、日常生活・社会生活にはどのような影響があるのでしょうか。どのように疾患や障害と付き合いながら生活しているのでしょうか。精神看護の対象となる人の回復を支えるための視点から、一緒に学び・考え、理解を深めましょう。 | | | 評価方法 試験 出席状況 |
| 使用するテキスト 看護学テキスト 精神看護学Ⅰ こころの健康と地域包括ケア 改訂第3版 南江堂 | | | |
| 参考文献 | | | |